



風立ちぬ

つよく
かしこく
あたたかく

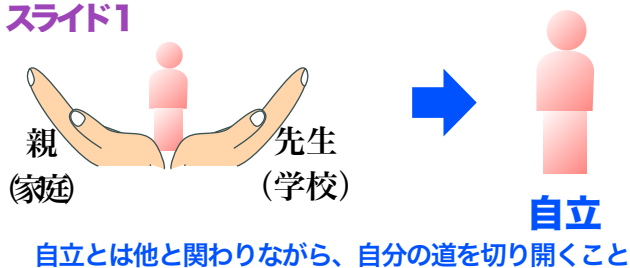
立川中学校通信
平成31年2月19日(火)発行

2/8 新入生入学説明会 校長の話

中学校は自立に向けた出発点に立つところ

入学説明会で、6年生には「入学は自立への出発点である」という話をしました。中学生の皆さんにも、「自立」について考えて欲しいと思い、ここに使用したスライドと内容の要旨を掲載します。

スライド1



中学校での自立に向けたプログラム

生徒会活動	学級での係
修学旅行	ボランティア活動
職場体験	毎日の授業・生活 など

今は親と先生に守られて生活していますが、やがて、そこから旅立つ時がやってきます。現に、今年の3年生の中で2名の生徒が、自宅を離れて県外の高校に進学し、親元を離れて生活します。また、高校を卒業すると、約半数は仕事に就いて働くことになります。皆さんにとって、「自立」は遠い未来のことではありません。

中学校には、「自立」するための様々なプログラムが準備されています。生徒会活動や職場体験、毎日の授業などです。先ほど、先輩が皆さんに説明してくれた中学校の生活は、すべて自立のための活動であると考えて間違いありません。(スライド1)



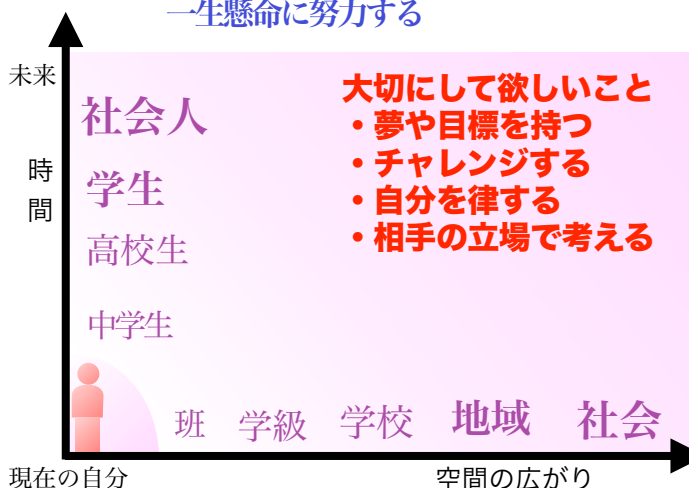
車座になって、6年生の質問に答える中1生。



校長の話を真剣に聞く6年生。立派です。

スライド2

夢や目標 夢や目標に向かって一生懸命に努力する



自立へのイメージ図

そこで、皆さんが中学校生活を過ごす上で心がけて欲しいことを2つ話します。

1つは「夢や目標に向かって一生懸命に努力すること」です。夢や目標を持ち、チャレンジしてください。失敗しても構いません。失敗は成功へのステップです。また、我慢したり、時間を上手に使うなど自分をコントロールすることが大切です。

2つは、「他と積極的に関わり、集団や社会に貢献できる人になること」です。そのためには、自分の考えを持ち、相手の立場で考えることが大切です。(スライド2)

皆さんの入学を職員・生徒一同心から歓迎します。

貢献
他と積極的に関わり集団・社会に貢献できる人になる

1/23 生徒総会

スローガン 心意気

「協和」「アクティブ・リンクの心」を高いレベルで達成



議案の承認

中学校生活の中で、生徒会活動は最も重要な自立に向けた教育活動と捉えています。話し合いにより、自分達のことは自分達で決める。そして、責任を持ち行動する。それは社会に出ても生きる活動です。

今年度の生徒会は、スローガン「協和」、2つの心意気「アクティブの心」「リンクの心」を高いレベルで達成されたと評価しています。荒天のため準備・練習が制限された中、成功させた運動会。縦割りに挑戦した合唱、初の取り組みであった交流給食と立中ディスカッション。いずれも学年を超えて積極的に仲間と関わり、絆を深めた活動でした。立中生の心意気に感動しました。

立中ディスカッションで明らかになった課題「あいさつ」「ボランティア活動」「学習態度」は残りの生活の中と来年度しっかり取り組んでいくことが確認されました。意義ある「自立」に向けた取り組みです。



新旧役員交代 生徒会を頼むぞ！

祝 スキー競技アルペン 仲川想菜 山形県・東北で頂点に立つ 県大会女子回転 優勝 大回転 4位 全国大会出場 東北大会女子回転 優勝 大回転 4位 全国大会出場

山形県大会は1月17日から19日まで米沢スキー場において、東北大会は1月25日から27日までオニコウベスキー場において開催されました。仲川想菜さんは、いずれの大会でも、回転は優勝、大回転は4位入賞という快挙を成し遂げました。おめでとう。

2月5日から7日まで苗場スキー場で開催された全国大会では、回転1本目6位、勝負を賭けて挑んだ2本目は※「片反」で惜しくも「記録なし」という結果でした。健闘しました。

また、現在、ジュニアオリンピックの選考レースが行われており、好成績を収めているので出場と活躍が期待されています。ジュニアオリンピックは3月27日から志賀高原スキー場で行われます。

※【片反（かたはん）】ポールを片足しか通過しないこと。旗門ぎりぎりを積極的に攻めた時に起こる。片足通過反則。



今季の海外遠征で鍛えたバランス感覚で、悪条件の中でも安定した滑りをする仲川選手。

文責：校長 中里 浩也